

## 平成28年度の調査

東日本大震災から5年が経過しました。この間、交通網の整備や高台移転の工事により、新しい町づくりが着々と進んでいます。この工事に伴う調査も大詰めを迎えており、派遣された3名の調査員も日々奮闘しています。今年度の前半は、主に岩手県北部の洋野階上道路建設に伴う調査を行っています。三陸北部特有の「やませ」を肌で感じながら、縄文時代の遺跡の調査や試掘調査で活躍しています。



重機掘削の様子（埼玉県派遣職員）



作業前の指示（滋賀県派遣職員）



全景写真の撮影（静岡県派遣職員）



焼失住居の発掘



出土した縄文土器



陥し穴と土坑墓